

コミュニケーション英語 II

教 科	外国語（英 語）	単位数	3	学科・学年	全科 2年
使用教科書	Revised COMET English Communication II（数研出版）				
副教材等	改訂版 COMET 基本文法定着ドリル2（数研出版） COMET コメット英単語（数研出版） 長期休暇中の課題テキスト 配布するプリント				

「コミュニケーション英語II」はどんな科目？

コミュニケーション英語Iで養った基礎的な能力を伸ばしながら、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす科目です。

「コミュニケーション英語II」の学習の特徴は？

コミュニケーション英語Iに比べ、やや発展した学習内容になります。特に速読や精読など、目的に応じた読み方をすることや、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、話し合うなどして結論をまとめたり、まとまりのある文章を書いたりすることなど、統合的な言語活動を行っていくことが、このコミュニケーション英語IIの大きな特徴です。

「コミュニケーション英語II」で大切なこと（留意点）は？

コミュニケーション英語I同様、間違いを恐れないことが大切です。毎時間、学習活動に積極的に参加し、自ら学ぶ姿勢を大切にしていってください。「学習活動に積極的に参加する」とは、たとえば、クラス全体での音読等の練習を大きな声で行ったり、学んだ表現を使って、クラスメートと話したり・書いたり、あるいは聞いたり・読んだりして、コミュニケーションを図ることを指します。ただ黙って座っているだけでは、積極的に参加していることにはなりません。英語が苦手な人も、そうでない人も、コミュニケーションを取ることを楽しんでください。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容（単 元 名）	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	Lesson 1: Staying in Space Lesson 2: Doraemon in the U.S. 〈宿題テスト〉	宇宙での生活を考える（動詞+that節） アメリカに渡った『ドラえもん』を通して日米の文化の違いを学ぶ (want+to不定詞)
	5		
	6	Lesson 3: Farm in the Sky 〈中間考査〉	シンガポールの垂直農場について学ぶ（疑問詞+to不定詞）
	7	Lesson 4: Goal Setting 〈期末考査〉	効果的な目標設定の仕方を理解する（分詞構文）
2 学 期		〈宿題テスト〉	
	8	Lesson 5: The High School Student Restaurant	生徒が働きながら感じ、学んだことを理解する（形式主語It）
	9	Lesson 6: Why Is It That Shape? 〈中間考査〉	さまざまなものの形を理解する（関係代名詞what）
	10	Lesson 7: Fujii, a Dolphin With a New Fin	フジの身にどのようなこと起こったか理解する（had+過去分詞）
	11	Lesson 8: Do We Need That?	外国の人々から見た日本のサービスについて考察する（使役動詞）
	12	Lesson 9: Changing Feelings 〈期末考査〉	マイナス思考をやめて気分変える方法を理解する (関係代名詞の継続用法)
3 学 期	1	Lesson 10: Ban Shigeru, Architect of Paper 〈宿題テスト〉	坂さんの活動や仕事に対する思いを理解する（関係副詞）
	2	Lesson 11: Win for Our Nation	ラグビーワールドカップが南アフリカにどう影響したかを理解する (知覚動詞)
	3	Lesson 12: From Small Factories to the World 〈学年末考査〉	世界に誇る日本の町工場の高い開発力を知る（仮定法）

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、間違いを恐れず積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。
外国語表現の能力	日常的な話題から専門的な話題に関することまで、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えているか。
外国語理解の能力	日常的な話題から専門的な話題に関することまで、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど伝えたいことを的確に理解しているか。
言語や文化についての 知識・理解	日常的な話題から専門的な話題に関することまで、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

年5回の定期考査
長期休業後の宿題テスト
学習への参加状況（出席状況・授業中の取り組み等）
提出物（長期休業中の宿題・授業プリント・ワークブック等）
外国語表現の能力（英作文・インタビューテスト・スピーチ・プレゼンテーション・単語テスト等）

1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

本校では、中学時代、英語に対する苦手意識があった人も、気持ちを切り替えて楽しく英語学習に取り組めるよう、1年生では「学び直し」を中心に授業を行ってきました。2年生では、コミュニケーション英語Ⅰより、発展的な学習内容になりますが、1年生の時と変わらず大切にしてほしいこと…それは、自分の意見や思いを英語で相手に伝えようとする姿勢、英語学習に対する前向きな気持ちです。毎回の授業にきちんと参加して、与えられる課題にしっかりと取り組めば、着実に力がついていきます。英語が得意な人は、さらにその力を伸ばすことを期待しています。人と人をつなぐ言葉の面白さを感じながら、学習していきましょう。